

リーダー養成塾

開講のお知らせ



地域課題の解決や地域活性化を目的とした活動・事業実施にはマーケティングや事業計画書の作成等、専門的なノウハウが必要です。そこで、事業実施や団体運営の知識等を修得することを目的とした連続講座を実施します。



◆対象者：地域課題の解決や地域活性化を目的とした活動・事業を実施している、または具体的に検討している団体または県民の方

◆講師：藤田 悠久雄氏(経営コンサルタント)

益田

益田市民学習センター
 13:30~16:30
 7/1は 18:30~21:30
 (計7回)

飯南

島根県中山間地域
 研究センター
 18:30~21:30
 (計7回)

隠岐

隠岐の島町
 ふれあいセンター
 19:00~22:00
 (計3回)

益田	飯南	内容
6/18(土)	6/22(水)	コミュニティビジネスについて
6/25(土)	6/29(水)	地域づくりのアイデア創出
7/1(金)	7/6(水)	商品づくりで大切なこと
7/30(土)	7/20(水)	事業に必要な許認可や活動形態
8/6(土)	7/27(水)	提供物、方法、対象について
8/20(土)	8/10(水)	会計と税務知識、利益計画の立て方
8/27(土)	8/24(水)	ビジネスプラン作成と行動計画の策定

隠岐	内容
6/21(火)	コミュニティビジネスについて
7/5(火)	提供物について、必要な知識
7/19(火)	ビジネスプラン作成と行動計画の策定

【お申し込み・お問い合わせ先】
 益田会場…石見事務所(浜田)
 TEL:0855-25-1600 E-mail:iwami@teiju.or.jp
 飯南・隠岐会場…地域活動支援課(松江)
 TEL:0852-28-0690 E-mail:shimane@teiju.or.jp

県民いきいき活動支援事業 助成金申請 〆切間近です

<締切日>

5月27日(金)

社会貢献活動支援事業

単年型事業

複数年型事業

<締切日>

6月24日(金)

地域活性化支援事業

ステップアップ事業

ジャンプアップ事業

事前相談も出来ます。

【問合せ】(公財)ふるさと島根定住財団 地域活動支援課

お気軽にお問い合わせください!

TEL:0852-28-0690 FAX:0852-28-0692

助成金&イベント情報



募集情報



イベント情報



助成情報



子育て応援助成事業 補助金

~5/31

- 締切日:5月31日(火) 当日必着
- 助成対象:県民が主体的に行う少子化対策のための多様な取り組みを推進するため、民間団体等が自ら企画し、実施する事業に対して助成
- 助成金額:1事業につき、30万円以内
☆詳細は、下記問合せ先まで
- 問合せ:島根県青少年家庭課 少子化対策推進室
TEL:0852-22-5302 FAX:0852-22-6045
Email: ueda-kazuo2@pref. shimane. lg. jp



石見銀山基金事業の 2次募集について

~5/31

- 締切日:5月31日(火) 当日消印有効
- 助成対象:石見銀山行動計画に記載された石見銀山遺跡の保全活用などの活動
- 対象活動:美術・音楽・伝統文化・スポーツの振興など
問合せ:NPO 法人石見銀山協働会議
TEL:0854-88-9123 FAX:0854-88-9124
<http://www.city.ohda.lg.jp/5661.html>
☆詳細は、石見銀山基金事業募集要項上記URLにて。



三井物産環境基金 東日本大震災復興助成

~5/31
(第1回)

- 締切日:第1回:5月31日(火) 第2回:6月30日(木)
第3回:7月29日(金) 当日必着
- 助成金額:総額6億円(1件あたりの上限はなし)
- 助成対象:国内のNPO法人、公益法人、特例民法法人、大学(活動、研究実績が3年以上である団体)
- 対象活動:環境・エネルギー問題など
問合せ:三井物産株式会社 三井物産環境基金事務局
TEL:03-6705-6156
<http://www.mitsui.com/jp/ja/csr/contribution/fund/index.html>



赤い羽根災害 活動サポート募金

~6/10

- 締切日:6月10日(金) 当日必着
- 助成金額:1ヵ月以内の活動:10~50万円、1ヵ月以上の活動:300万円以内
- 助成対象:・東日本大震災で被災された方々を支援するボランティア活動全般
・被災地における活動だけでなく、全国の被災者の避難先、原子力発電所事故に伴う住民の避難先における活動も対象
問合せ:(社福)中央共同募金会 TEL:03-3581-3846



公益財団法人エネルギー 文化・スポーツ財団

~6/20

- 締切日:6月20日(月) 当日消印有効
- 助成金額:1件あたり10~50万円
- 助成対象:中国地方に所在し、中国地方在住者が過半数を占める地方内で活動する団体
- 対象活動:美術・音楽・伝統文化・スポーツの振興など
問合せ:(公財)エネルギー文化・スポーツ財団
TEL:082-542-3639
<http://www.gr.energia.co.jp/bunspo/bunspo10.html>



講演会「自閉症への外からの 特性理解と支援」

6/19

- 日時:6月19日(日) 10:00~16:00
- 会場:出雲市立平田図書館 2階視聴覚ホール
- 費用:会員の方・1,500円、一般・2,000円
- 内容:自閉症スペクトラムに対する特性理解と支援についての講演
主催・問合せ:NPO法人 療育センター燦々
<http://blog.canpan.info/rsansan-blog>
☆11月には研修会も行います。



しまね田舎ツーリズム 神話をめぐる田舎ツーリズム第2弾

6/4

- 「折絶(をりたえ)」とは? 国引き神話誕生の謎にせまります
風土記に登場する「去豆(こづの)折絶(をりたえ)」の周辺をめぐるります
- 日時:6月4日(土)10:00~16:00
- 会場:佐香コミュニティセンター(現地集合)
- 募集定員:25名(定員になり次第締切ります)
- 講師:平野芳英氏(荒神谷博物館副館長)
- 参加費:1,500円
問合せ:(公財)ふるさと島根定住財団(担当:桔梗) TEL:0852-28-0690



島根 で頑張る人

“島根で頑張る人”は島根県で活動する人にスポットを当て、考え方や経験から団体活動に迫るコーナーです。スタッフの「学び」も兼ねて取材させていただいています。

歩く速さで… 観て歩く、気付く

物静かな雰囲気だが、親しみやすい笑顔の廣兼さん。そして「ちょっと手伝ってよって言われると、何とかするかって思いますね」と語る廣兼さんの行動力も人を惹きつけている。

宮崎に進学時、大学仲間と「みどりの会」を発足。役場とも協力して、城下町として古くから残る民家の生垣を守ろうと剪定作業を行った。社会貢献というほど大それたものではなかったが、地域のニーズと自分たちの出来ることが結びつき、地元の人との触れ合いが出来た。同時にその生垣の中に立派な植木を見つけるなどの楽しみも覚えた。その結果、剪定にとどまらず植木市の管理の手伝いなどの活動も増えた。長く続けていけたのは「自分たちのペース」で「楽しく」やっていけたからこそ。



ハマグリ稚貝一斉調査の様子

その経験を通じた行動力は地元に戻ってきてからも広がりを見せる。益田の魅力を考えるフォーラムに参加したのをきっかけに、「益田のまちづくり」を目指す団体を有志と結成。「観て歩いて益田を知る」取り組みを始めた。そんな折参加した「川についての集まり」で、高津川が数ある一級河川の中でも有数の水質を誇るにもかかわらず、特にそれを意識したことがなかったことに気付かされた。川を管理するのは国など行政がやることだと他人任せだったのが当時の現状。しかし自分をはじめ地元民が関心をもち、流域の様子や歴史を知ることで、高津川をまちづくりに活かせるのではないかと。まずは高津川のワークショップを始めるようになった。

やがて全国源流シンポジウムにも参加。プレゼンや情報発信の方法を学び経験を重ねる。そして3年前、新聞にコラムを掲載することになり、メンバーや協力者がそれぞれの得意分野を綴った。その数は108回にも及び、まさに皆の思いが詰まったものになった。いつかこれを本にしたい、と思う。

「アンダンテ」とは、イタリア語で「歩く速さで」という意味。川の流れよりゆっくりかもしれないが、その活動は一歩ずつ広がっていく。



アンダンテ21 理事長 廣兼 義明さん

島根県益田市美都町出身。宮崎へ進学後、広島での就職を経て、地元へ帰り仲間と地域づくり活動を始める。アンダンテ21の発足から携わり、現在理事長を務める。

今までの主な活動

平成9年設立平成15年にNPO法人になり、高津川ワークショップの開催、第4回全国源流シンポジウムIN高津川大海の開催、ヒメバイガモ保全事業などを行う。現在はどんぐりの森づくり事業とハマグリやささやきプロジェクト(ハマグリを守る人を育てる)事業を継続的にやっている。

ご存知ですか?

当財団では、団体の話し合いや作業をサポートするために「交流サロン」を開設しております。事前予約によりご利用できます。印刷機やパソコン等の利用も可能です。なお、テルサ駐車場代はご負担願います。

交流サロン

会議や作業スペースとして…

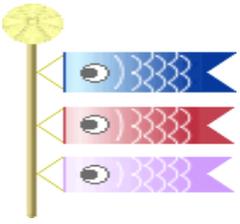


印刷室



※用紙はご持参ください。

ご利用ください



スタッフ紹介

年度初め特別版-石見編-

松江編から続いて、今回は石見事務所のスタッフを紹介いたします。

石見事務所は浜田市の「いわみぷらっと」内にあり、県西部を中心に地域活性化活動・社会貢献活動を行っております。これからも皆様の身近な支援組織になりたいと思っておりますので、よろしく願います。

平日は浜田、週末は松江。このローテを始めて4年目に入りました。「地域づくり」という視点では、こちら石見も全く出雲にひけをとらず、地域資源・思いのある人それぞれ豊富だと感じます。あとはちょっとだけ取りかかりのお金があれば、ちょっとだけ専門知識や他からの応援があれば、有言実行できるのに。そういった団体をいかに発掘して支援できるかが、我々の課題かなと思っています。今年度も石見の潜在パワーができるだけ顕在化するように、このメンバーでがんばります。



所長
小笠原 勝司



主任
河野 文彰

石見の田舎も素敵だよ！慎ましくも農山漁村のオッチャン、オバチャンの笑顔は最高！海スタイルを貫く若者パワーは頼もしく、自他共に認めるthe神楽マンは神出鬼没！街の縁側拠点に集う乙女や母ちゃん達の企て(?)も敏感キャッチ！

ワンサカいる石見の夢追っかけランナーの元気エキスをもらいながら、「住みたくなる」石見・島根の発信ナビ、アンテナを磨いて『こちら石見事務所・応答願います!』。

地域づくり事業を担当して3年目を迎えました。今年、自宅にゴーヤを植えました(母が)。ものすごいスピードで成長するゴーヤに驚いています。しまねいきいきねっと初?!の石見コーナーなので「初めまして」の方も多いかと思います。が、「そういえば石見事務所に黒川がいたな～」と思いついて出していただけよう、またゴーヤの成長スピードとまではいきませんが日々成長できるようまた1年頑張っていきたいと思っています！



スタッフ
黒川 裕美

図書紹介

当財団ではNPO法人、地域づくり団体や任意団体・個人向けの図書の貸し出し、閲覧を行っています。海外の地域づくり団体の事例報告や全国のNPO法人のイベント情報、情報誌など種類は様々です。

今回は新規に購入した本を1冊、ご紹介いたします。

「NPOマネジメント 最終号」 (川北 秀人 著)

強く、しなやかなマネジメント作りを目指すために作られたこのシリーズ。惜しまれつつも最終号になります。基礎を再確認する「10の質問」と、NPOの支援者が持つべき「2歩先の視点と7つのチカラ」を特集に、マネジメントの基礎から発展まで扱っています。バックナンバーも書架にありますので、ぜひご覧ください。



※申し訳ありませんがこの本は閲覧のみとなります。
松江、石見両事務所にありますのでぜひお越しください。

制作スタッフ日記

「それぞれの場所で、最善の活動を」「忘れないでいてくれること」Twitterで、どんな支援を望むかと問われた被災地の方がおっしゃっていた言葉です。大震災から2ヶ月以上経ちました。大惨事でその復興に何年かかるかわかりませんが、時間の経過に負けずに同じ支援の気持ちを継続していくこと。それも大事な務めだと思います。NPO活動にも、通じるものがあると思います。活動のその継続こそ、意味があるのですから。今日も一日がんばろう！



内田 麻紀

春はまだかな？と思っていたのに気付くともう暑さを感じる気候になってきました。先月、今月と挨拶周りに行く機会が多く、たくさんの団体さんの顔を見ることが出来ました。改めて支援組織の一員として、気軽にお手伝いしたりいろいろご指導頂くことができればと思っています。まずは5月31日、6月1日と労務管理講座を開催します。人と人が協力していくNPOだからこそ、切っても切れない大事な内容です。一緒に勉強させていただきたいと思っています。



柏木 ゆり子